

# 全町一丸となつて撲滅を

野生大麻・不正けし

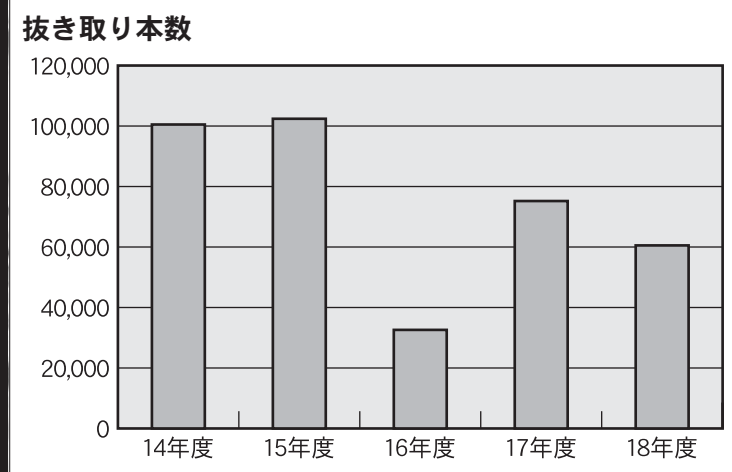
## 悪質犯罪の要因にも

野生大麻・不正けしの撲滅に向けて今年も各種運動が全国一斉に展開されていますが、北海道では6月1日から9月30日までの4か月間を「野生大麻・不正けし撲滅運動」期間として啓発活動を実施します。訓子府町でも町民の皆さんの協力を得て、抜き取り作業などを行います。

網走管内では、野生大麻を不正に採取して検挙される事件が毎年発生しており、犯罪を未然に防ぐためにも全町一丸となった撲滅運動が大切です。



過去5年間の野生大麻抜き取り状況



	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
本数	100,512本	102,463本	32,674本	75,226本	60,527本
面積	30,000㎡	66,525㎡	13,060㎡	24,400㎡	14,700㎡

### 野生大麻

#### 精神障害など起こし危険

大麻は、第二次大戦以前その繊維（アサ）を採る目的で、道内各地で栽培されていましたが、「大麻取締法」の施行（昭和23年）以来、許可を受けなければ所持や栽培をすることはできなくなりました。

大麻は、葉を乾燥させ、タバコのように煙を吸引すると幻覚や妄想などの精神障害や生殖障害を引き起こす大変危険なものです。

しかし、野生大麻の種の生命力は強く、なかなか根絶できない状況にあります。このため、種ができる秋以前に抜き取るのが撲滅への近道です。

2ページのグラフと表のとおり過去5年間の抜き取り本数のうち、平成14年、15年は10万本以上を抜き取り、平成16年には3万本台に落ち着きましたが、その後新たな自生地が見つかり増えています。

管内では過去に野生大麻を不正に採取し、検挙される事件が発生しているほか、大麻吸引によって悪質な犯罪に結び付く可能性もあります。

撲滅運動期間中、町では北見保健所とともに、町民の皆さんの協力を得て抜き取り作業を実施します。自分が所有、使用している土地に野生大麻が自生している場合は、除去の協力をお願いします。

### 不正けし

けしも大麻同様に麻葉の原料になる種類があります。植えてはいけないけしを、知らないで観賞用として自宅の庭に植えていても厳しく罰せられます。

町内では、平成15年に300本、17年に100本の不正けしが見つっています。観賞用として植える場合は、保健所などに問い合わせるなど、植えていいかどうかを十分に確認してください。

	種類	草丈	葉の色・特徴	花
植えてはいけないけし	ケシ (ソムニフェルム種)	100～160cm	・白味を帯びた緑色 ・ふちが不規則なぎざぎざ	・大きさ径8～12cm。一重咲きは花びら4枚、八重咲きがある ・色は赤、桃、紫、白などで、花びらの基部に斑点があるものもある
	アツミゲシ (セティゲルム種)	50～100cm	・緑色 ・ふちが不規則なぎざぎざ	・大きさ径6～8cm。花びら4枚 ・色は薄紫、赤などで、花びらの基部に斑点があるものもある
	ハカマオニゲシ	60～100cm	・濃い緑色 ・鳥の羽のような切れ込みがある	・大きさ径9～12cm。花びら4～6枚 ・色は深紅。花びらの基部に斑点がある
植えてもよいけし	オニゲシ	50～100cm	・濃い緑色 ・鳥の羽のような切れ込みがある	・大きさ径9～12cm。花びら4～6枚 ・色はだいたい、朱色。花びらの基部に斑点があるものもある
	アイスランドポピー	70～80cm	・緑色 ・深い切れ込みがあり、菊の葉に似ている	・大きさ径7～8cm。花びら4枚 ・赤、桃、だいたい、黄、白など。 (ケシ属には珍しく黄色の花がある)
	ヒナゲシ (虞美人草)	50～80cm	・緑色 ・深い切れ込みがある	・大きさ径6～8cm。一重咲きは花びら4枚、八重咲きがある ・色は紅、だいたい、桃 ・花びらの基部やふちが白のものもある

厚生労働省のパフレットから

問合せ ○北見保健所(☎24-4171) ○北見警察署訓子府駐在所(☎47-2410)  
○役場町民課環境衛生係 (☎47-2203)